



鉄道友の会 選定

2018 年 島 秀雄記念優秀著作賞決定

■ 単行本部門（2 件）

- ・名取紀之「紀州鉱山専用軌道」ネコ・パブリッシング(2017)
- ・KEMURI PRO.「阿里山森林鉄道」南軽出版局(2017)

■ 定期刊行物部門(1 件)

- ・中山嘉彦「日本初の連節車京阪電気鉄道 60 型・びわこ号」(『レイル』No.103 掲載)

■ 特別部門(1 件)

- ・「釧路・根室の簡易軌道」(釧路市立博物館)の出版に対して

鉄道友の会(会長・須田 寛、会員約 3,000 名)は、島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会(選考委員長・高井 薫平)による選考のもと、2018 年島 秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門 2 件、定期刊行物部門 1 件、特別部門 1 件の合計 4 件を選定することに決定いたしました。

なお、贈呈式は、2018 年 11 月 25 日(日)に都内で予定しています。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2018年 島 秀雄記念優秀著作賞選定対象の解説・選定理由

■ 単行本部門（2件）

- ・名取紀之「紀州鉾山専用軌道」ネコ・パブリッシング(2017)
- ・KEMURI PRO.「阿里山森林鉄道」南軽出版局(2017)

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・中山嘉彦「日本初の連節車京阪電気鉄道 60 型・びわこ号」(『レイル』No.103 掲載)

■ 特別部門（1件）

- ・「釧路・根室の簡易軌道」(釧路市立博物館)の出版に対して

■ 単行本部門（2件）

- ・名取紀之「紀州鉾山専用軌道」ネコ・パブリッシング(2017)

本書は、紀伊半島の山中にあった紀州鉾山専用軌道について、閉山間際の1978（昭和53）年3月に3日間にわたって現地を訪れた際の記録に基づいて、その沿革などを含めてまとめた著作です。路線、車両などの基本的な記録にとどまらず、閉山を間近に控えた従業員、利用者の様子など、当時の雰囲気を写真と文章によって現在に伝えています。鉄道趣味の原点とも言えるフィールドワークの面白さ・価値に気づかされるという意味で類を見ない内容で、著者独特の聞き取りや現地での実地調査、文献調査もバランスよく織り込まれ、調査・研究の模範となる著作として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

- ・KEMURI PRO.「阿里山森林鉄道」南軽出版局(2017)

本書は、日本統治時代の台湾で日本人の手によって建設された阿里山森林鉄道について、車両の記録のみならず沿線風景から歴史、地勢的な面までを総合的にまとめた著作です。KEMURI PRO. は、鉄道情景を中心とした組写真による「語りかけるグラフ」を持ち味として活動を続けている鉄道趣味者の集団で、これまでも『貝島炭礦鉄道』（2015）、『北のオールドアメリカン』（2016）など格調高い著作を発表し続けています。写真を魅せる各ページのレイアウトの構成や、挿入図表なども自ら作成するなど、本づくりに対するこだわりも高く評価できます。阿里山森林鉄道の往時の姿をしのび、歴史を知る上で充実した内容の著作として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 定期刊行物部門(1件)

・中山嘉彦「日本初の連節車京阪電気鉄道 60 型・びわこ号」(『レイル』No.103 掲載)

本作品は、わが国最初の連節車として知られる京阪電気鉄道 60 型「びわこ号」電車について、数々の歴史的記録写真と、詳細な記事で掘り起こした著作です。この車両については、これまでもたびたび取上げられていましたが、本作品は、その誕生のいきさつから終焉まで、内外の膨大な資料と多くの聞き取りにより調査され、欧米の文献を詳細に探索して幅広く考察しています。また、連節車の利点や「連節」、「連接」の表記についても言及するなど、これまでに無かった多くの内容を含んでいます。さらに、開発に携わった人物についても考察を深め、写真や図表なども充実しており、地道な調査に基づいてまとめられた著作として島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 特別部門(1件)

・「釧路・根室の簡易軌道」(釧路市立博物館)の出版に対して

本書は、釧路市立博物館の企画展の内容をまとめた図録で、従来体系化された資料が少なかった簡易軌道について、地元自治体に保存される資料や写真の掘り起こしをはじめ、各鉄道の職員だった人たちや沿線利用者の体験談や記録写真の数々も加わり、簡易軌道をまとめた書籍として充実した内容となっています。また、地元の利を生かしつつ、全国的な鉄道趣味者のネットワークを活用するなど、編著者の果たした役割も高く評価できます。シンプルな構成ながら、網羅性が意識されているほか、鉄道趣味者の記録や成果をうまく取り入れており、島秀雄記念優秀著作賞特別賞にふさわしい業績として選定しました。

島 秀雄記念優秀著作賞とは

島 秀雄記念優秀著作賞は、毎年 1 回、鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的として、2008 年に新設された賞です(今回は第 10 回目となります)。

賞の名称は、鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の実現に功績のあった島 秀雄氏(1901～1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとしたものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門…… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門 定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門…… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、過去 3 年間(今年は 2015 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準)を対象としました。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員から推薦を行い、選考委員会を選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今回の島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員 10 名(委員長・高井 薫平)で構成しました。また、今回の候補の推薦は、2018 年 1 月より推薦受付を開始し、2018 年 3 月 16 日(金)に締切り、単行本部門 15 作品、定期刊行物部門 5 作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・鉄道友の会のご紹介
- ・過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 7-16 ヒューリック市ヶ谷ビル 3 階 鉄 道 友 の 会 (本部事務局) 担当：鹿山、小野田 Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL http://www.jrc.gr.jp/

<添付資料>

第1回（2008年）選定

■ 単行本部門（2件）

- ・ 齋藤 晃「蒸気機関車 200 年史」NTT 出版
- ・ 関田 克孝「のりもの絵本－木村貞男の世界－」フレーベル館

■ 定期刊行物部門（3件）

- ・ 江原 光昭「京成電軌の四輪単車を再考する」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年3月増刊号掲載）
- ・ 小西 純一「余部橋梁」
（交友社『鉄道ファン』2007年7月号／8月号掲載）
- ・ 名鉄資料館「知られざる名鉄電車史」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年7月号／8月号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 鉄道史資料保存会（会報「鉄道史料」の継続出版に対して）

第2回（2009年）選定

■ 単行本部門（3件）

- ・ 長船 友則「山陽鉄道物語」JTB パブリッシング
- ・ 湯口 徹「日本の蒸気動車」ネコ・パブリッシング
- ・ 河田 耕一「鉄道風景 30 題」機芸出版社

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ 澤内 一晃「東京市の静脈物流と私有貨車」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2008年1月増刊号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 田部井 康修「上州を走ったトラム 伊香保電車」東武博物館

第3回（2010年）選定

■ 単行本部門（4件）

- ・ 和久田 康雄「日本の市内電車」（成山堂書店）
- ・ 関 崇博「門鉄デフ物語」（ネコ・パブリッシング）
- ・ 奈良崎 博保「九州を走った汽車・電車」（JTB パブリッシング）
- ・ 宇都宮 照信「食堂車乗務員物語」（交通新聞社）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ 大熊 孝夫「雪国を駆けぬける「スノーラビット」」
（交友社『鉄道ファン』2009年5月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「日本鉄道旅行地図帳の刊行」に対して（新潮社）

第4回（2011年）選定

■単行本部門（3件）

- ・小林 正義「国鉄EF13形」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・安保 彰夫「出石鉄道」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・大田 治彦「西鉄電車おもいでアルバム」樞歌書房（2010）

■定期刊行物部門（2件）

- ・初澤 毅「緩衝式車止めの形態と分類」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年7月号～9月号掲載）
- ・堀岡健司「鉄道の掲示と行先標の変遷」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年10月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「京阪電鉄百周年に関する著作物」の企画に対して（京阪電気鉄道）

第5回（2012年）選定

■単行本部門（2件）

- ・白土 貞夫「銚子電気鉄道」ネコ・パブリッシング（2011）
- ・三橋 克己、葛 英一、藤本 邦彦「オハ71形の一族」車両史編さん会（2011）

■定期刊行物部門（1件）

- ・渡利 正彦「岐阜地区の進駐軍輸送の実態を探る」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2011年5月号／6月号掲載）

■特別部門（2件）

- ・「機関車表DVD版の制作」（沖田 祐作）に対して
- ・「貨車に関する一連の著作」（吉岡 心平）に対して

第6回（2013年）選定

■単行本部門（4件） ※発行日順

- ・辻村 功「鉄道メカニズム探究」JTBパブリッシング（2012）
- ・鉄道友の会客車気動車研究会「日本の食堂車」ネコ・パブリッシング（2012）
- ・小関 和弘「鉄道の文学誌」日本経済評論社（2012）
- ・鉄道の「知」を探る編集委員会「鉄道の「知」を探る」山川出版社（2012）

■定期刊行物部門（1件）

- ・澤内 一晃、星 良助「北海道の私鉄車両」（鉄道友の会『RAILFAN』2007年8月号～2012年6月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「機関車史研究会の一連の著作」（近藤 一郎）に対して

第7回（2014年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 浦田 慎（監修・貨物鉄道博物館）「貨車車票の歴史」（2013）
- ・ 服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 斎藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）
- ・ 北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して

第8回（2015年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 和田 洋「阿房列車」の時代と鉄道」交通新聞社（2014）
- ・ 西 裕之「特撰 森林鉄道情景」講談社（2014）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 富井 規雄「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年6月号掲載）
- ・ 岩成 政和「戦後ディーゼル機関車発達史の論点、争点、疑問点」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年7月号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 生方 良雄 小田急電鉄に関する一連の著作

第9回（2016年）選定

■ 単行本部門（2件）

- ・ 高木 宏之「国鉄蒸気機関車史」ネコ・パブリッシング（2015）
- ・ 中村 光司「知られざる連合軍専用客車の全貌」JTBパブリッシング（2015）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ 野元 浩「狭小トンネル用 PS23 形パンタグラフ」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2015年12月号掲載）

■ 特別部門（2件）

- ・ 「関西の鉄道」ほかの継続出版に対して（関西鉄道研究会）
- ・ 「中国鉄道時刻表」の出版に対して（中国鉄道時刻研究会）

第10回（2017年）選定

■ 単行本部門（2件）

- ・ 中村尚史「海をわたる機関車」吉川弘文館（2016）
- ・ 大賀寿郎「路面電車発展史」戎光祥出版（2016）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ フリーランス・プロダクツ「ハイブリッド大全」（交友社『鉄道ファン』2016年1月号掲載）

■ 特別部門（3件）

- ・ 戦後日本の鉄道カラー写真に関する一連の著作に対して（ジェイ・ウォーリー・ヒギンズ）
- ・ 「昭和天皇御召列車全記録」の編集に対して（新潮社日本鉄道旅行地図帳編集部）
- ・ 「置戸森林鉄道」の出版に対して（橋爪実）